

# 都道整備見直し求める

小金井

市グループ 都に8603人分の署名簿

小金井市の市民グループ「都市計画道路を考える小金井市民の会」は八日、同市内で整備が計画されている都市計画道路（都道）の見直しを求める八千六百三十三人分の署名簿を都に提出し、小池百合子知事にできるだけ早く視察に来るよう要請した。

整備が計画されているのは、「小金井3・4・1号線」（約二千六十メートル）と「小金井3・4・11号線」（約八百二十メートル）。都が三月にまとめた都市計画道路の整備方針で、今後十年間の優先整備路線に選ばれている。同会は、「はげ」と呼ばれ、貴重な自然が残る「国分寺崖線」を分断する計画だと指摘。優先整備路線の対象から外すよう求め、今年六月から署名を集めてきた。今後も署名活動は続ける。

## 都道見直し求め 署名8603人分提出

小金井の市民団体

自然が残る場所として知られる「ハケ」（国分寺崖線）を横切る都市計画道路（都道）の整備を巡り、小金井市の市民団体が八日、小池知事あてに事業化見直しを求める8603人分の

署名を提出した。

「都市計画道路を考える小金井市民の会」の阿部達事務局長らは「知事に現場を見に来てほしい」「手つかずの自然でムササビもすむ。大都市に残された財産だ」と要望。都職員は「知事に伝える」と応じた。

計画道路は都が昨年、今年度から十年間の優先整備路線に選んだ。同会は七月

の知事選で候補者にアンケートを実施。小池氏は「地元から強い疑義が提起されている路線を実際に巡視し、住民とも対話し、優先整備路線に位置づけることが不適切と判断される路線は大胆に見直しを進めたい」と回答していた。市議会は計画見直しを求める意見書を三月に可決している。